



八溝山周辺地域
定住自立圏

平成26年1月、栃木県（大田原市・那須塩原市・那須町・那珂川町）・福島県（棚倉町・矢祭町・埴町）・茨城県（大子町）の2市6町による『八溝山周辺地域定住自立圏』が形成されました。圏域の地域活性化につながる取り組みの一環として、圏域市町のPR情報をお届けします。

OUTDOOR

矢祭山友情の森

矢祭山『友情の森』は自然環境を利用して設置した自然休養地です。JR水郡線矢祭山駅より徒歩10分の場所にあり、眼下には久慈川の清流を臨み、付近にはハイキングコース、キャンプ場、バンガローがあります。

さらに休憩室をはじめ、シャワールーム等を備えた『総合案内施設』があり一日を楽しく過ごすことができます。

矢祭山の美しい自然とともに、有意義な、そして心に残る思い出としてください。



営業期間

4月1日～11月30日（12月～3月の期間は施設を閉鎖しています）

アクセス

矢祭町大字山下字下河原191

【水郡線をご利用の方】

水戸駅から矢祭山駅まで約1時間40分

郡山駅から矢祭山駅まで約1時間40分

【自動車をご利用の方】

白河ICから矢祭山駅まで約1時間

那珂ICから矢祭山駅まで約1時間

利用方法

電話予約

（管理人が常駐していないため、矢祭町役場に事前予約が必要です）

※ハイキングコースについては常時営業しています。

なお、予約の必要はございません。

問い合わせ

矢祭町役場事業課産業グループ ☎0247-46-4576



矢祭町 HP (友情の森)
詳しくは、
こちらをご覧ください



8/3 井原と大田原 心の交流

令和5年度小学生交流事業



今年度の小学生交流事業は8月3日から5日まで、友好親善都市である岡山県井原市から児童13名を迎え、本市の小学生19名と交流・交歓を行いました。

児童たちはこの事業を通して、地元の魅力を再発見し、両市の関係や文化の違いについても理解を深めました。

初日は緊張もありましたが、最終日にはたくさんの笑顔が見られ、別れを惜しむ姿もあり、心の交流もできました。

7/28 小中学生の学力向上のために

日本フェルト株式会社からの寄附



日本フェルト株式会社(本社:東京都北区)から令和3年度、令和4年度に続き3回目となる、企業版ふるさと納税による寄附をいただきました。

日本フェルト株式会社は、大田原市寒井に栃木工場を置き、同工場において地元採用を積極的に行っています。

今回の寄附は、小学5・6年生及び中学3年生までのデジタル教科書の配備の拡充を図るための事業へ充当し、学力向上推進のために活用させていただきます。

8/27 地域で助け合える体制づくり

西部地区の自治会で自主防災訓練を開催



8月27日に西原小学校で、西部地区防災連絡協議会主催の「避難所開設・運営合同訓練」が開催されました。この訓練は、自治会の枠を超えた広域での共助により地域の防災力を高めることを目的としています。

西部地区の方々による避難所開設運営訓練や、大田原消防署による救命救急訓練、地元消防団による操法訓練が、猛暑の中行われました。台風が多くなっていく時期を迎える前に、防災意識が高められました。

8/27 清流那珂川で鮎を釣る

第6回芭蕉の里くろばね那珂川レディース鮎釣り大会



8月27日に女性限定の鮎釣り大会が那珂川河川公園で開催されました。

初心者でも気軽に参加できるように道具一式を貸し出し、地元のベテラン釣り人がインストラクターとして参加する本大会には、県内外の10代から70代の60名が参加し、清流那珂川で釣果を競いました。参加者全体の釣果は216匹、優勝者は11匹も釣り上げました。

8/22 選手のさらなる飛躍を期待して

大田原市内小中学生全国大会・関東大会結果報告会



スポーツ競技の全国大会や関東大会に出場した大田原市内の小中学生 65 名の児童・生徒が参加し「結果報告会」が開催されました。

チームまたは個人として初の大舞台を経験した方や、見事全国大会や関東大会で優勝を成し遂げた方、これから大会が行われ上位成績を目指す方など、将来の活躍が期待される児童生徒の姿に会場は大変盛り上がりました。市長からは大舞台での選手たちの更なる活躍を期待して激励のメッセージが贈られました。

9/2 継続は力なり

与一太鼓 30 周年記念コンサート



9月2日に那須野が原ハーモニーホールで「与一太鼓設立 30 周年記念コンサート」が開催されました。与一太鼓は、平成5年7月に那須与一をたたえ新たな伝統文化の創出を目的に創設されて以来、市のイベントや地域イベントに積極的に参加し、その技量と名声を着実に伸ばしてきました。長野冬季五輪の入場行進曲の一部として演奏したほか、日本代表として台湾での海外公演、さらに東京国際和太鼓コンテストでは最優秀賞を受賞するなど幅広く活動し活躍しています。

9/1 長寿を祝して

敬老祝い記念品の寄贈



9月1日に、市内の肖像画家 益子 学司 氏と増村園芸（南金丸）の増村 英樹 氏が市内の高齢者への敬老祝い記念品の寄贈のため、市長を訪問しました。

益子氏からは市内で2番目の高齢の方へ肖像画（最高齢の方には寄贈済み）を、増村氏からは100歳以上の高齢の方へ千日紅の寄せ植えを寄贈いただきました。

佐良土陶芸クラブ

投稿者：佐良土陶芸クラブ 会長 大高 正美

佐良土陶芸クラブは、令和2年度末に閉講した生きがいづくり講座を前身にして結成した自主グループです。物作りの楽しさや奥深さ、使う喜びを感じるのが魅力の陶芸。

そんな陶芸を通じて生活を豊かにすることを目的に、作品づくりに励んでいます。

活動日は毎週月曜日・火曜日の午後と第4土曜日の午前・午後です。現在新しい仲間を募集中です。見学もできますので、興味のある方は下記までご連絡ください。

問 佐良土陶芸クラブ 会長 大高 正美

TEL 0 2 8 7 (9 8) 2 0 7 8



『みんなのひろば』投稿募集

問 情報政策課 **TEL** 0 2 8 7 (2 3) 8 7 0 0
✉ jouhou@city.ohatawara.tochigi.jp

●応募方法

Eメールに写真を添付し、本文に次の①～⑥を記入して情報政策課にお送りください。

①コーナー名

- ・我が家の『○○』(家族や自慢のレシピなどの紹介)
- ・いいところ撮り(市内の風景・イベント写真の紹介)
- ・大田笑人(市内で活躍する個人・団体の紹介)

②写真のタイトル

③コメント(200文字程度)

④氏名とペンネーム(本名掲載を希望の場合は不要)

⑤住所(番地も記入。紙面には大字のみ掲載します。)

⑥電話番号

●注意事項

- *原則として受付順に掲載しますが、応募多数の場合は過去に一度も掲載されていない方を優先します。
- *掲載回数の上限は1人につき月1回かつ同一年度内3回までとし、2号連続しての掲載は行いません。
- *掲載された場合の謝礼はありません。

●掲載できない記事

- ・市の品位、公共性または公益性を損なうおそれがあるもの
 - ・政治的、宗教的または選挙活動に当たるもの
 - ・営利を目的とするもの
 - ・個人、団体を誹謗中傷するもの
- ※詳しくは、市HPをご覧ください。



市史編さんだより vol.36

民俗部会調査速報⑪
～交通安全祈願のしめ縄～

古道や旧道を歩いたり車で走ったりすると、道標や馬頭観音碑などの石塔を目にすることがあります。江戸時代には、東北諸藩が参勤交代で利用した奥州道中や会津藩が江戸屋敷の物資輸送に利用した原街道(原方街道)などの歴史の道が通っていた大田原市内には、旅人の往来も多く各所に道標が残されています。また、北那須地域には農耕や運送用の馬が多くいたので、馬頭観音の石碑が道標にもなっていました。

さらに、歴史の道を往来する旅僧や漂泊芸能民と地域住民との交流により、様々な伝承やいわれが生まれ地域に残されます。そうした中、新しく生まれたいわれを刻む「交通安全祈願のしめ縄」を紹介します。

親園地区を通る旧奥州道中とライスラインの十字路は、できた当初、交通事故が絶えなかったそうです。地域の人々の間に、昭和40年代後半から50年代初頭に行われた基盤整備(県営圃場整備事業)で近くにあった墓石や石塔をどけてしまったための祟りではないかとの噂が広がっていきました。そこで、墓石や石塔があった場所の四隅に笹のついた竹を挿してしめ縄を張り「奉修交通安全祈願祭」と書かれた木札を立てて、毎年、春と秋の交通安全週間初日に長泉寺(花園)住職に祈祷していただくことにしました。最近では、交通事故もめっきり少なくなったそうです。近くには、中世にあったというお城の石垣の石の祟りを伝える「あおめ石」、豊かな湧水がもたらした虚無僧池や念仏川のいわれも残っています。

山があり川があり丘があり、そして歴史の道が残る本市には、多くのいわれや伝承が残されています。民俗部会では、それらを調査・記録していますので、ぜひお知らせください。(民俗部会長 木村康夫)



交通安全祈願のしめ縄



あおめ石

問 文化振興課 **TEL** 0 2 8 7 (4 7) 5 0 3 1